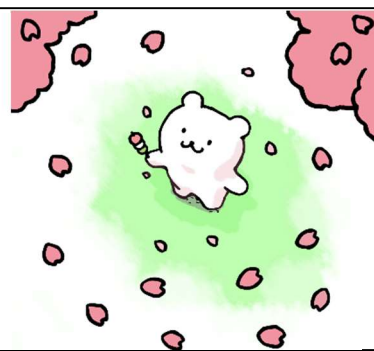


健康長寿企画課発行の

認知症に関する冊子を

リニューアルしました！

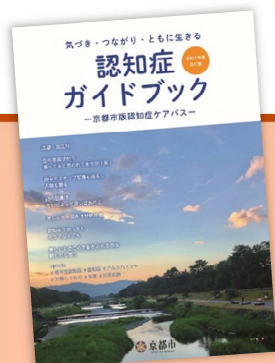
発行：京都市保健福祉局 健康長寿のまち・京都推進室 健康長寿企画課
電話：075（746）7734 令和3年3月発行



令和2年度に、健康長寿企画課で発行する認知症に関する冊子2種類を、リニューアルいたしました。今回の推進員ニュースでは、これらのリニューアルのポイントについてお伝えいたします。

これらの冊子はいずれも、京都市情報館（京都市のホームページ）上にデジタルブックで公開されており、パソコンやスマートフォンでもご覧いただけます。

掲載ページやQRコードも併せてお知らせしますので、ぜひご活用ください。



その① 気づき・つながり・ともに生きる 認知症ガイドブック

<https://www.city.kyoto.lg.jp/digitalbook/page/0000001266.html>



タイトルを「気づき・つながり・ともに生きる 認知症ガイドブック」に変更。中身についても、認知症施策推進大綱で掲げられている「共生」について、多くの人に正しく理解していただけるよう考えました。



当事者やご家族によりよく暮らしていくためのケアの流れを知っていただくための「認知症ケアパス」を、4ページ（これまでの2倍）にわたって掲載し、文字を大きく見やすくしました。

認知症になっても自分で自分の人生を選択していただくことができるよう、そのヒントとなる事柄についても掲載しています。

認知症初期集中支援チームや、認知症疾患医療センターなど、市として拡充した制度やサービスについての情報も新たに盛り込みました。

認知症について漠然と不安を感じる全ての人に、認知症になってからの人生にも希望を持って

いただけるようにと考え、当事者の方々の声を掲載しました。



←「ひと足先に認知症になった先輩からのメッセージ」として掲載しています。

表表紙と裏表紙には、市内在住で若年性認知症当事者の下坂厚さんが、SNSにアップされているお写真と文章を使用させていただきました。



↑下坂さんを囲んで冊子と一緒に写真撮影（左から3人目が下坂さんです。）



その② いなくなる前に・いなくなっても できること！

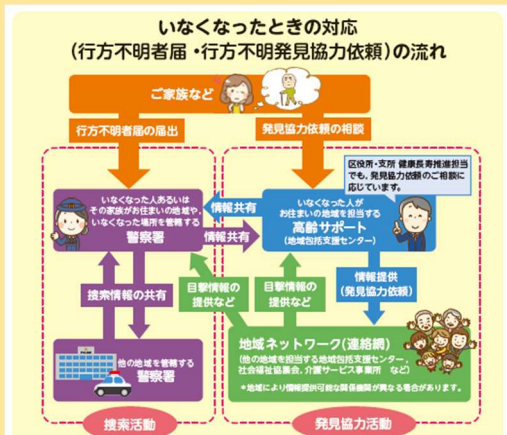
<https://www.city.kyoto.lg.jp/digitalbook/page/0000001305.html>



安心して
外出を続ける
ために

認知症であってもなくても安心して外出を楽しんで
いただきたいという思いを込めて、サブタイトルを
「安心して外出を続けるために」としました。

もしものときも慌てず対応していただけるよう、
フロー図にイラストを入れるなどして、見やすく
なるよう工夫しました。



「高齢者あんしんお出かけサービス
(小型 GPS 端末機の貸出)」について、
これまでより詳しくお伝えしています。

●高齢者あんしんお出かけサービス～小型 GPS 端末機の貸出～

専用の小型 GPS 端末機を貸し出して、認知症の高齢者等の行方が分からなくなった際に GPS 機能を利用して、居場所をお知らせするサービスです。
本サービスには、高齢者等が他人にケガをさせたり他人の物を壊したりして法律上の損害賠償責任を負った場合に備える日常生活賠償保険(上限3億円まで補償)を付帯しています。
※GPSとは・・・人工衛星からの電波を利用して、現在地を測定するシステムです。

対象 介護保険の要介護認定で要支援または要介護認定を受け、認知症により外出時に
戻れなくなるおそれのある高齢者等を、在宅で介護している家族など。
利用料金 月額1,500円 ※生活保護等を受給されている方は無料(令和3年3月現在)

高齢者あんしんお出かけサービスに関するご相談は お住まいの地域の

- 区役所・支所保健福祉センター 健康長寿推進課 高齢介護課担当 7ページ
- 高齢サポート (地域包括支援センター) 8ページ

スマートフォンなどで検索できる「**自己検索型**」と、
位置検索センターに電話して端末機の居場所を確認する
「**問い合わせ検索型**」があります。
生活スタイルに合わせて端末機を選ぶことができます。

機器を持ってもらうための工夫

- ・手作りの袋に入れて「お守り」として手渡す。
- ・外出にいつも持ち歩くカバンやシルバークーラーの底に入れておく。
- ・「自己検索型」の端末機については、専用の靴に取付ができます。
- ※端末機を靴と部分に内蔵できる靴です。購入費は自己負担となります。
- ※いざというときと作動するように、定期的な充電や電池交換が必要です。忘れずに行いましょう。
- ※他に、医療企業で販売したり貸し出ししているGPS付き携帯電話や機能型スマートフォンもあります。

前回の発行以降、変更があった点(事前登録の際に
警察署とも連携する仕組みができたことなど)を
反映しました。

認知症疾患医療センター作成のデジタルブックが完成！



京都市認知症疾患医療センター(北山病院)では、コロナ禍での新しい暮らし方の
提案をまとめたデジタルブック「WITH コロナ&WITH 認知症～認知症の人と家族の
新しい暮らし方～」を発行しました。

こちらのデジタルブックは、下記のホームページで公開されています。
また、ダウンロードすることもできます。

https://www.sankokai.jp/group/medical_facility/kitayama/dc

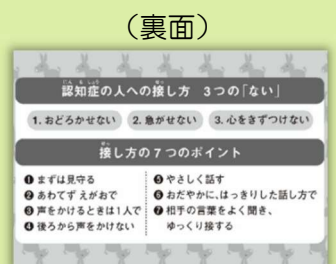
<https://www.city.kyoto.lg.jp/digitalbook/page/0000001309.html>



認知症サポーターの証が、オレンジリングからサポーターカードに変わります。

令和3年4月1日～、認知症サポーター養成講座の受講を証明
するために配付するグッズを、これまでのオレンジリング
(オレンジ色のプレスレット) から認知症サポーターカードに
変更します。

カードは名刺サイズで、ラミネート加工されています。



※ 認知症サポーター養成講座に関するお問い合わせは、京都市長寿すこやかセンター(京都市認知症サポーター
養成事務局 電話:075(354)8741)へ。